

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、現状分析のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	A	A	A	A	A
2. 研究科の理念・目的を掲載するウェブサイトの状況について、現状分析と改善のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	D	C	C	B	C
3. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、見直しの必要性に関する意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	B	B	B	A	A
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
4. 毎年2回開いている入試説明会で理念・目的を参加者に説明している。	→入試説明会の開催回数と参加人数			A	A	A
	→					
		☆				

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科委員会(教授会)において、研究科のあり方(理念・目的)や、入試・学位審査等について意見交換している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 理念・目的に基づくアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを毎年確認した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 研究科委員会(教授会)では毎回積極的な議論が交わされている。今後も研究科のあり方(理念・目的)をはじめとした広範な議論を促す。	☆
		その他	☆

目標2	C	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科委員会(教授会)では積極的な議論が交わされているが、ウェブサイトの更新時期に留まり、現状の分析などは深く議論されていない。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か ウェブサイトそのものの検討はされていない。よって、改訂について検討する必要がある。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 研究科委員会(教授会)でウェブサイトについて検討する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 理念・目的に基づくアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを毎年確認した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 理念・目的や各ポリシーを含め、広範な議論が展開されていること。引き続き、時代のニーズ、学生のニーズを把握しながら、継続して検討する。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も定期的にアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを確認し、必要であれば見直す。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標4	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 年2回の説明会では、説明用の資料を作成して、理念・目的について説明している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 年2回、各回5人程度の出席がある。説明会で理念・目的を説明している。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も継続して、説明会の場で理念・目的を説明する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
備考			☆